



平成24年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年10月3日

上場会社名 キューピー株式会社

上場取引所 東

コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 峰三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長

(氏名) 井上 伸雄

TEL 03-3486-3331

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	377,937	4.1	19,248	21.5	20,031	20.7	11,087	53.9
23年11月期第3四半期	363,198	3.5	15,837	11.4	16,599	9.6	7,204	18.2

(注) 包括利益 24年11月期第3四半期 14,255百万円 (79.9%) 23年11月期第3四半期 7,923百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	74.05	—
23年11月期第3四半期	47.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第3四半期	303,579	194,263	55.8
23年11月期	275,790	185,293	58.0

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 169,506百万円 23年11月期 160,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年11月期	—	9.50	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	10.50	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	2.8	23,500	12.9	24,000	9.5	12,300	30.2	82.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期3Q	153,000,000 株	23年11月期	153,000,000 株
期末自己株式数	24年11月期3Q	3,275,769 株	23年11月期	3,274,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期3Q	149,725,149 株	23年11月期3Q	151,249,764 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
（4）追加情報	4
3．四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）継続企業の前提に関する注記	10
（5）セグメント情報等	10
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4．補足情報	12
（1）売上高のまとめ	12
（2）営業利益のまとめ	13
（3）12.11期第3四半期累計（11.12月～12.8月）の営業利益増減状況	14
（4）主要な販売費・一般管理費実績	15
（5）営業外・特別損益の実績と計画、および11.11期第3四半期累計対比での主な増減内容.....	15
（6）貸借対照表の主な増減内容	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中、欧州を中心とした世界経済の減速や長引く円高などの影響により、厳しい状況で推移いたしました。そのような中、雇用情勢は求人数などに改善の動きが見られ、個人消費にも回復の兆しが見えてまいりました。

食品業界においては、震災以降継続する中食志向の高まりとともに、外食も回復傾向で推移いたしました。一方、原資材やエネルギーなどのコストを左右する穀物・原油価格は不安定な状況が続き、コスト上昇への懸念が高まってまいりました。

食品物流業界においては、お取引先様での物流体制の見直しや、物流業者間の価格競争による受託料金の伸び悩みなど厳しい状況が続いてまいりました。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の状況

平成22年度からの3年間を対象とする中期経営計画における、「人材育成の充実と、グループ品質の向上」を土台とした「事業基盤の強化」と「新たな展開への挑戦」の3つの基本方針、また、これらを強力に推進するドリルの役割として位置づけた「フードサービス戦略の本格的展開」にグループが連携して取り組むことで、企業価値の一層の向上に努めました。

・売上高

調味料・加工食品事業やサラダ・惣菜事業が好調に推移し、3,779億37百万円と前年同期に比べ147億39百万円（4.1%）の増収となりました。

・利益面

昨年の震災後に広告宣伝活動や販売促進活動を自粛したことで、当期のマーケティング費用は増加しましたが、サラダ調味料や中食向けの高付加価値商品の販売が伸張したことなどから、営業利益は192億48百万円と前年同期に比べ34億11百万円（21.5%）、経常利益が200億31百万円と前年同期に比べ34億32百万円（20.7%）の増益となりました。また、昨年の東日本大震災の保険金などの受取りや、連結子会社株式の追加取得による負ののれん発生益を特別利益として第2四半期連結会計期間に計上したこともあり、四半期純利益は110億87百万円と前年同期に比べ38億83百万円（53.9%）の増益となりました。

セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料・加工食品	130,245	137,121	6,876	5.3%
健康機能	13,526	13,263	263	1.9%
タマゴ	64,139	63,478	661	1.0%
サラダ・惣菜	63,440	73,349	9,909	15.6%
共通	4,280	4,412	132	3.1%
物流システム	87,566	86,312	1,254	1.4%
合 計	363,198	377,937	14,739	4.1%

[営業利益の内訳]

(単位 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料・加工食品	11,208	12,000	792	7.1%
健康機能	1,134	581	553	48.8%
タマゴ	2,606	4,523	1,917	73.6%
サラダ・惣菜	1,620	2,488	868	53.6%
共通	533	723	190	35.6%
物流システム	2,403	2,723	320	13.3%
調整額	3,668	3,792	124	-
合 計	15,837	19,248	3,411	21.5%

調味料・加工食品

- ・ドレッシングや健康訴求タイプのマヨネーズ、および東アジアの展開が順調に拡大
- ・原資材コストやマーケティング費用の増加を、増収効果が上回り増益

健康機能

- ・ヒアルロン酸の販売不振により減収となったが、高齢者食は伸張
- ・ヒアルロン酸は減益となったが、コスト改善は進展

タマゴ

- ・前年高騰した鶏卵相場の安定により減収となったが、中食向け商品は好調に推移
- ・中食向け高付加価値商品の増収や、鶏卵相場の安定により増益

サラダ・惣菜

- ・需要拡大に向けた施策により、パッケージサラダが大きく伸張、米飯や惣菜も拡大
- ・これまでの事業基盤強化の効果に加え、増収が寄与

共通

- ・各社のコスト削減などにより増益

物流システム

- ・お取引先様の物流体制の見直しなどにより、既存取引が減少し減収
- ・拠点の統廃合による固定費削減など保管・運送機能の合理化が進み増益

（2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,035億79百万円と前連結会計年度末に比べ277億89百万円増加
主に「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」、「土地」、「建設仮勘定」の増加による
- ・負債は、1,093億16百万円と前連結会計年度末に比べ188億19百万円増加
主に「支払手形及び買掛金」、「短期借入金」、「未払法人税等」、「賞与引当金」、「社債」の増加、「その他」（未払費用）の減少による
- ・純資産は、1,942億63百万円と前連結会計年度末に比べ89億70百万円増加
主に「利益剰余金」、「その他有価証券評価差額金」の増加による

キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、339億87百万円と前連結会計年度末に比べ94億78百万円増加

各キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、引当金、売上債権、仕入債務の増加、その他（未払費用）の減少、法人税等の支払などにより206億64百万円の収入（前年同期は97億63百万円の収入）
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、子会社株式の取得による支出、投資有価証券の償還による収入、定期預金の預入による支出などにより197億72百万円の支出（前年同期は81億60百万円の支出）
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入、配当金の支払などにより85億6百万円の収入（前年同期は174億71百万円の支出）

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、国内外の景気の下振れ懸念など、当社グループにとって予断を許さない状況が続くものと思われます。

当社グループは、平成22年度からの3年間を対象とする中期経営計画の最終年度にあたり、収益基盤の多様化を進めてまいります。「事業基盤の強化」においては、サラダ調味料の着実なシェアの拡大と付加価値の向上、ヒアルロン酸における製薬メーカーとの取組み強化と高機能商品の市場浸透、タマゴ商品における提案力の強化と鶏卵相場の変動に強い体質づくり、惣菜やパッケージサラダの商品力と提案力の強化などを一層推し進めてまいります。また「新たな展開への挑戦」では、国内においては、新・ソースワールドの打ち出しなどによるグループ全体での提案により市場の深耕を図るほか、海外では、中国・タイのフードサービス市場の攻略やマレーシア・ベトナムでの展開を加速し、東アジアでの取り組みにおいて点から面への拡大を推進してまいります。

なお、本年7月2日に公表しました平成24年11月期の通期業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

法人税の税率の変更による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の40.70%から35.64%に段階的に変更されます。

これにより、繰延税金資産（流動資産）の純額が19百万円、繰延税金負債（固定負債）の純額が918百万円減少し、法人税等調整額（貸方）は750百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,553	31,987
受取手形及び売掛金	64,875	69,584
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	10,936	12,118
仕掛品	650	854
原材料及び貯蔵品	5,291	5,347
その他	5,062	7,058
貸倒引当金	260	168
流動資産合計	111,110	131,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,175	127,828
減価償却累計額	79,048	81,399
建物及び構築物（純額）	47,127	46,429
機械装置及び運搬具	125,481	127,845
減価償却累計額	103,196	105,486
機械装置及び運搬具（純額）	22,284	22,359
土地	40,759	43,178
建設仮勘定	2,146	7,802
その他	12,017	13,796
減価償却累計額	8,263	9,188
その他（純額）	3,754	4,608
有形固定資産合計	116,072	124,377
無形固定資産	2,301	2,184
投資その他の資産		
投資有価証券	19,796	19,302
前払年金費用	16,745	16,009
その他	10,507	10,644
貸倒引当金	742	721
投資その他の資産合計	46,306	45,234
固定資産合計	164,680	171,797
資産合計	275,790	303,579

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,259	42,596
短期借入金	7,237	9,590
未払法人税等	3,192	6,338
賞与引当金	1,060	4,117
その他引当金	1,120	2,821
その他	24,149	20,137
流動負債合計	76,019	85,602
固定負債		
社債	500	10,000
長期借入金	663	600
引当金	2,421	2,470
資産除去債務	315	315
その他	10,576	10,327
固定負債合計	14,477	23,714
負債合計	90,497	109,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,434	29,434
利益剰余金	113,622	121,939
自己株式	3,386	3,388
株主資本合計	163,774	172,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210	2,188
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	4,973	4,770
その他の包括利益累計額合計	3,766	2,582
少数株主持分	25,284	24,756
純資産合計	185,293	194,263
負債純資産合計	275,790	303,579

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)
売上高	363,198	377,937
売上原価	275,507	282,882
売上総利益	87,691	95,055
販売費及び一般管理費	71,854	75,806
営業利益	15,837	19,248
営業外収益		
受取利息	142	117
受取配当金	300	304
持分法による投資利益	160	151
その他	406	562
営業外収益合計	1,010	1,135
営業外費用		
支払利息	119	157
その他	128	194
営業外費用合計	248	351
経常利益	16,599	20,031
特別利益		
受取保険金	-	338
受取補償金	-	307
負ののれん発生益	-	368
抱合せ株式消滅差益	74	-
その他	102	108
特別利益合計	177	1,123
特別損失		
固定資産除却損	858	470
減損損失	108	212
災害による損失	1,704	-
その他	403	22
特別損失合計	3,074	705
税金等調整前四半期純利益	13,701	20,449
法人税等	5,620	7,453
少数株主損益調整前四半期純利益	8,081	12,996
少数株主利益	876	1,909
四半期純利益	7,204	11,087

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8,081	12,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	1,004
繰延ヘッジ損益	7	2
為替換算調整勘定	249	252
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	157	1,258
四半期包括利益	7,923	14,255
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,085	12,270
少数株主に係る四半期包括利益	837	1,984

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,701	20,449
減価償却費	9,958	10,193
減損損失	108	212
持分法による投資損益（は益）	160	151
投資有価証券評価損益（は益）	58	0
負ののれん発生益	-	368
引当金の増減額（は減少）	5,560	4,679
前払年金費用の増減額（は増加）	712	735
受取利息及び受取配当金	443	422
支払利息	119	157
固定資産除売却損益（は益）	816	427
売上債権の増減額（は増加）	2,656	4,632
たな卸資産の増減額（は増加）	2,711	1,390
仕入債務の増減額（は減少）	1,350	3,214
その他	6,606	6,005
小計	19,810	27,097
利息及び配当金の受取額	502	510
利息の支払額	181	152
法人税等の支払額	10,367	6,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,763	20,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	9,811	15,952
無形固定資産の取得による支出	387	386
投資有価証券の取得による支出	185	162
子会社株式の取得による支出	-	1,859
投資有価証券の償還による収入	-	2,000
貸付けによる支出	57	155
貸付金の回収による収入	397	301
定期預金の預入による支出	47	3,000
定期預金の払戻による収入	1,594	45
その他	335	602
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,160	19,772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	858	1,868
長期借入れによる収入	-	800
長期借入金の返済による支出	10,907	385
社債の発行による収入	-	9,946
配当金の支払額	2,883	2,770
少数株主への配当金の支払額	286	322
自己株式の取得による支出	2,104	2
その他	431	629
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,471	8,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	132	79
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	16,001	9,478
現金及び現金同等物の期首残高	33,121	24,509
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	7	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,127	33,987

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
前第3四半期連結累計期間（自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日）
1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料・加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・惣菜	共通	物流システム	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への売上高	130,245	13,526	64,139	63,440	4,280	87,566	363,198	-	363,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,122	373	3,412	370	8,343	17,100	32,722	(32,722)	-
計	133,367	13,899	67,552	63,811	12,623	104,667	395,921	(32,722)	363,198
セグメント利益	11,208	1,134	2,606	1,620	533	2,403	19,506	(3,668)	15,837

(注)1．セグメント利益の調整額 3,668百万円には、主として、当社の管理部門および連結子会社であるケイ・システム㈱と㈱キユーピーあいに係わる費用等である配賦不能営業費用3,630百万円が含まれております。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）
1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料・加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・惣菜	共通	物流システム	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への売上高	137,121	13,263	63,478	73,349	4,412	86,312	377,937	-	377,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,177	274	3,547	423	7,097	17,709	32,230	(32,230)	-
計	140,299	13,537	67,026	73,772	11,509	104,021	410,167	(32,230)	377,937
セグメント利益	12,000	581	4,523	2,488	723	2,723	23,040	(3,792)	19,248

(注)1．セグメント利益の調整額 3,792百万円には、主として、当社の管理部門および連結子会社であるケイ・システム㈱と㈱キユーピーあいに係わる費用等である配賦不能営業費用3,859百万円が含まれております。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間における減損損失は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	調味料・ 加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・ 惣菜	共通	物流 システム	合計	調整額	合計額
減損損失	-	-	-	-	-	212	212	-	212

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間における負ののれん発生益は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	調味料・ 加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・ 惣菜	共通	物流 システム	合計	調整額	合計額
負ののれ ん発生益	-	-	-	-	-	368	368	-	368

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しております。
 2. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。
 3. 12.11期の通期の数値は、2012年7月2日に発表した数値です。

(1) 売上高のまとめ

(億円)

売上高	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
10.11期	調味料・加工食品	397	457	854	431	1,285	432	1,717
	健康機能	39	44	83	46	129	49	178
	タマゴ	195	209	404	209	613	218	831
	サラダ・惣菜	184	194	378	205	583	198	781
	共通	20	17	37	16	53	14	67
	物流システム	272	282	554	291	845	292	1,137
	合 計	1,107	1,202	2,309	1,199	3,508	1,202	4,710
11.11期	調味料・加工食品	412	445	857	445	1,302	433	1,735
	健康機能	42	50	92	43	135	50	185
	タマゴ	210	221	431	210	641	216	857
	サラダ・惣菜	194	208	402	232	634	224	858
	共通	14	15	29	14	43	15	58
	物流システム	284	292	576	300	876	295	1,171
	合 計	1,157	1,230	2,387	1,245	3,632	1,232	4,864

12.11期	調味料・加工食品	430	470	900	471	1,371		1,817
	健康機能	40	45	85	48	133		190
	タマゴ	211	217	428	207	635		857
	サラダ・惣菜	224	248	472	261	733		938
	共通	14	16	30	14	44		53
	物流システム	281	288	569	294	863		1,145
	合 計	1,199	1,285	2,484	1,295	3,779		5,000
前年差	調味料・加工食品	18	25	43	26	69		82
	健康機能	3	4	7	5	3		5
	タマゴ	1	4	3	3	7		0
	サラダ・惣菜	30	40	70	29	99		80
	共通	0	1	1	0	1		5
	物流システム	3	4	7	6	13		26
	合 計	42	54	96	50	147		136

第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

（２）営業利益のまとめ

（億円）

営業利益	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
10.11期	調味料・加工食品	31	57	88	41	129	37	166
	健康機能	3	3	6	4	10	4	14
	タマゴ	11	11	22	11	33	6	39
	サラダ・惣菜	2	4	6	5	11	5	16
	共通	4	1	5	2	7	2	5
	物流システム	6	9	15	9	24	4	28
	調整額（全社費用・消去）	11	13	24	12	36	10	46
	合 計	44	74	118	61	179	42	221
11.11期	調味料・加工食品	34	38	72	40	112	32	144
	健康機能	2	7	9	2	11	4	15
	タマゴ	7	6	13	13	26	12	38
	サラダ・惣菜	2	5	7	9	16	6	22
	共通	3	1	4	1	5	2	7
	物流システム	4	10	14	10	24	6	30
	調整額（全社費用・消去）	11	13	24	13	37	11	48
	合 計	41	53	94	64	158	50	208

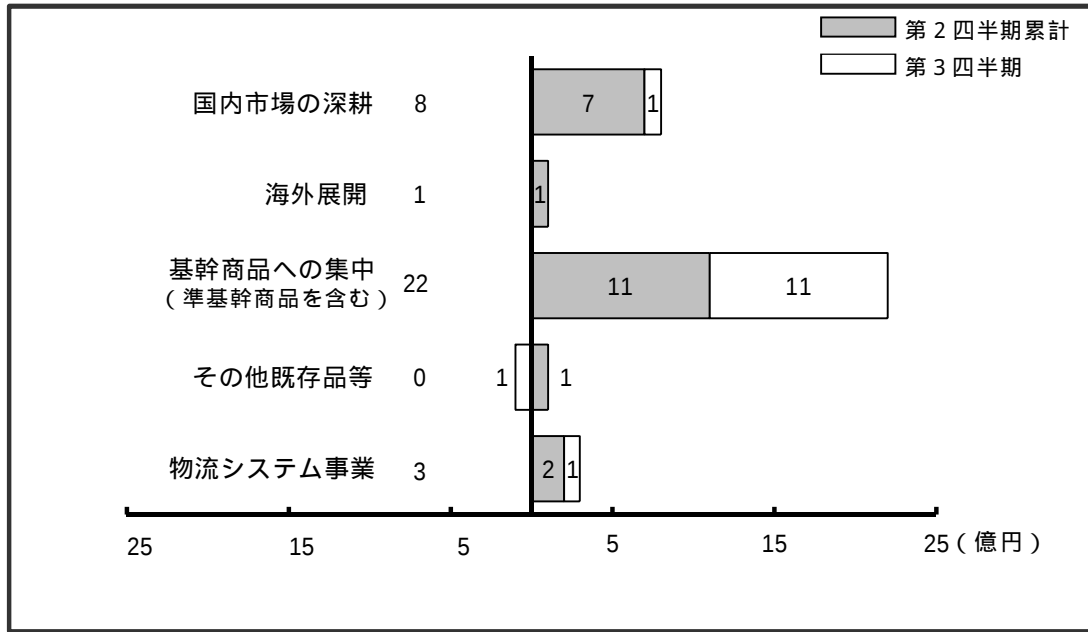
12.11期	調味料・加工食品	31	41	72	48	120		150
	健康機能	1	2	3	3	6		12
	タマゴ	15	16	31	14	45		56
	サラダ・惣菜	5	9	14	11	25		27
	共通	3	2	5	2	7		7
	物流システム	6	10	16	11	27		32
	調整額（全社費用・消去）	12	13	25	13	38		49
	合 計	50	67	117	75	192		235
前年差	調味料・加工食品	3	4	1	8	8		6
	健康機能	1	5	6	1	6		3
	タマゴ	8	10	18	1	19		18
	サラダ・惣菜	3	4	7	2	9		5
	共通	1	2	1	1	2		0
	物流システム	2	0	2	1	3		2
	調整額（全社費用・消去）	1	0	0	0	1		1
	合 計	8	14	22	11	34		27

第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

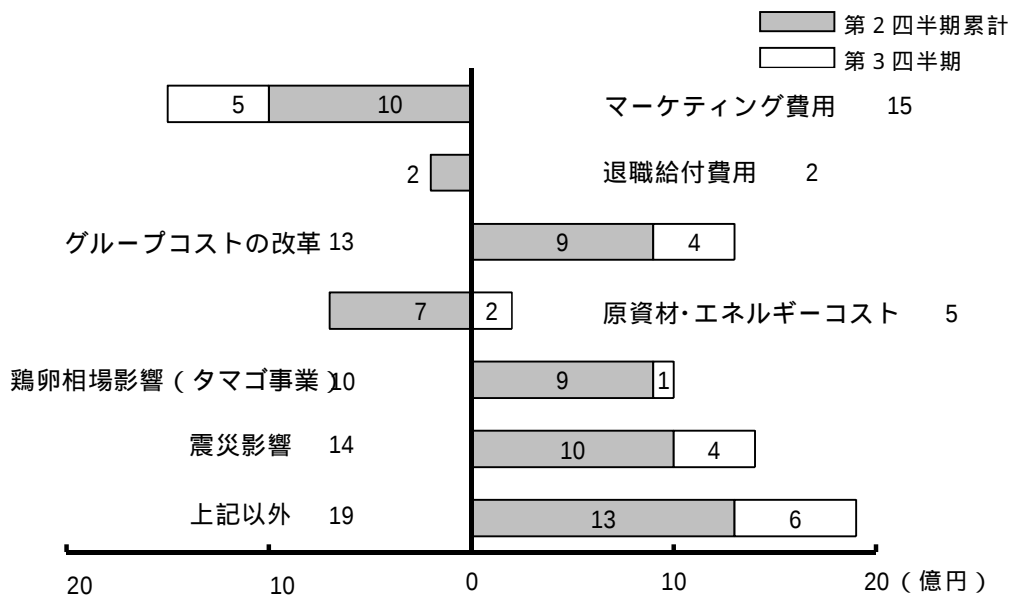
(3) 12.11期第3四半期累計（11.12月～12.8月）の営業利益増減状況

（億円）

	11.11期	12.11期	前年差
第2四半期累計	94	117	22
第3四半期累計	158	192	34



コストなどの影響



（４）主要な販売費・一般管理費実績

（億円）

	10.11期 第3四半期累計	11.11期 第3四半期累計 （Ａ）	12.11期 第3四半期累計 （Ｂ）	前年差 （Ｂ）－（Ａ）
販売促進費	133	133	143	10
広告宣伝費	59	56	61	5
物流費	192	202	217	15
労務費	173	180	183	3
研究開発費	21	22	24	2

（５）営業外・特別損益の実績と計画、および11.11期第3四半期累計対比での主な増減内容

（億円）

	11.11期 第3四半期累計	12.11期 第3四半期累計	増減内容 （第3四半期累計対比）	11.11期	12.11期 通期計画
営業外損益	8	8	その他営業外収益の増加 + 2 社債利息及び発行費用の増加 1	11	5
特別損益	29	4	東日本大震災に伴う損失の減少 + 17 東日本大震災に伴う受取保険金、 補償金発生益の増加 + 6 負ののれん発生益の増加 + 4 固定資産除却損の減少 + 4	43	3

（６）貸借対照表の主な増減内容

（億円）

	11.11期	12.11期 第3四半期	増減	増減内容
（資産の部）				
流動資産	1,111	1,318	207	現預金の増加 124 営業債権の増加 47
固定資産				
有形・無形固定資産	1,184	1,266	82	取得による増加 182 減価償却による減少 102
投資その他の投資	463	452	11	投資有価証券の減少 5 前払年金費用の減少 7
（負債の部）				
	905	1,093	188	借入金の増加 23 社債の増加 100 営業債務の増加 33 未払法人税等の増加 31
（純資産の部）				
	1,853	1,943	90	利益剰余金の増加 83 その他有価証券評価差額金の増加 10